

WISS2018 開催にあたって

伊藤 貴之*

「人生はすべて実験」という格言があります。私は WISS こそまさに、実験的な運営の連続によって未来の研究集会を開拓する集団であると考えます。今年の WISS は「開催時期を 2 か月前倒しする」という新たな実験に着手しました。WISS に関連する多くの研究コミュニティに影響を与える試みではありますが、多くの方の理解をいただいたことに感謝し、今年も無事に WISS を開催できることを嬉しく思います。

WISS の開催時期の変更は、国内の HCI 研究業界から高品質な論文をさらにたくさん出したいという議論から出発したものと私は認識しています。この考えにもとづき、特に WISS と投稿者層の重複が大きいインタラクションなどの査読付き国内会議と十分に開催時期を空けることにより、国内各種の査読付き国内会議の効果が最適化され、ひいては国内の HCI 業界からより高品質な論文を多数輩出できるようになるのでは、と考えた次第です。

今年の WISS の運営は「開催時期を前倒ししたことで準備が間に合わなくなる」といった事態を避けることを最重視しました。そこで今年は大きな改革を避け、昨年までの体制を最大限引き継ぐことで、運営の負荷を下げました。それとは別に、WISS の開催時期変更の効果を高めるために以下の点を試みました。

まず私が考えたことは、WISS は「ワークショップなので粗削りなアイデアを歓迎する」といいつつ「Web での掲載に遜色ない論文を採用したい」という相反的な状況があるという点です。この矛盾を解決するために今年は、短期間で改善できる余地のある論文は積極的に条件付採録と判定し、例年より長い 3 週間の再投稿期間を設けることで著者に加筆修正を促しました。また PC 委員の査読の負荷を下げかわりに査読の品質を上げるため、また経験豊富なシニア研究者からの情報も集めるために、PC 委員の任期を満了した人の中から「OB プログラム委員」に就任してくれる賛同者を集めました。今年 は OB プログラム委員の中の何人かに投稿論文を読んでいただき、関連研究情報を集め、メタレビューに組み込んでもらう、という方法を採用しました。

また今回の開催時期変更の意図はあくまでも「HCI 業界全体を通してより多くの高品質な論文を輩出する」という点にあります。その効果を高めるために査読コメントを「判定理由」と「研究をよくするためのコメント」にわけて、次回以降の機会に高品質な論文に仕上げるための一案を提供することにしました。また「大変面白い研究なのでぜひ WISS で共有したいが、論文としては大きく改善された形で次回以降の機会に出版されてほしい」という伸びしろのある研究に対して、「ロングティザー採録」という枠を新設し、デモを通して議論を深めていただくことにしました。これらの効果が将来 WISS のみならず多くの関連研究集会に波及することを期待してやみません。

今年の登壇発表の投稿数は 29 件、登壇件数は以下のとおりとなりました。投稿数の減少の理由は、開催時期の変更により告知期間が短くなった今年特有の理由と考えられます。投稿数の復活に向けて対策を練りたいと考えます。

- ロング発表 6 件（うち条件付 2 件）
- ショート発表 10 件（うち条件付 5 件）
- ロングティザー登壇 9 件

※議論枠発表は「該当なし」

諸般の状況により今年は昨年と同じ会場での開催になりましたが、2 年連続参加される方には昨年と違う季節の会場をお楽しみいただけたと思います。また来年以降はいままで冬開催の会場として選びにくかった地域にも進出しやすくなると思います。

運営面では参加登録者全員を対象とした事前オンライン交流の場（今年は暫定的に Slack）を導入し、スムーズに当日を迎えるように努めました。また今年にはスポンサー企業各社の参加がさらに増えました。これにより学術機関や学生と産業界との接点が増え、ひいては WISS がますます充実したものになればと期待いたします。

最後になりますが、参加者および投稿者の皆様、運営委員・プログラム委員・OB プログラム委員・スポンサー企業各社様・セクレタリアット様・日本ソフトウェア科学会・その他 WISS に熱いご意見やご協力をお寄せ下さった多くの方々に深く感謝の意を表します。

* お茶の水女子大学, WISS2018 プログラム委員長

WISS 2018 プログラム委員長

伊藤 貴之 (お茶大)

WISS 2018 運営委員長

竹川 佳成 (はこだて未来大)

WISS 2018 副運営委員長

西田 健志 (神戸大)

WISS 2018 運営委員

会場 西田 健志 (神戸大)
会計 [正] 細部 博史 (法政大)
[副] 伊藤 正彦 (東大, NICT)
出版・デザインコンペ 中村 裕美 (産総研)
大槻 麻衣 (筑波大)
益子 宗 (楽天技術研究所)
参加者管理 樋口 啓太 (東大)
広報・学会リエゾン 佃 洗撰 (産総研)
WISS Challenge 入江 英嗣 (東大)
チャット 小倉 加奈代 (岩手県立大)
福地 健太郎 (明治大)
動画生中継 杉浦 裕太 (慶応大)
阪口 紗季 (関西大)
デモ・ポスター 真鍋 宏幸 (NTT ドコモ)
村尾 和哉 (立命館大)
ネットワーク 丸山 一貴 (明星大)
原 貴洋 (YAMAHA)
Web・投票・ローカルサーバ 加藤 淳 (産総研)
小山 裕己 (産総研)
懇親会 辻田 眸 (シンクフェーズ)
築瀬 洋平 (Unity)
表彰 五十嵐 悠紀 (明治大)
沖 真帆 (はこだて未来大)
企業スポンサー 大坪 五郎 (ネクスト)
川本 菜摘 (無所属)
岩本 拓也 (サイバーエージェント)
学生ボランティア 櫻井 翔 (電通大)

WISS 2018 プログラム委員

五十嵐 悠紀 (明治大)
伊藤 正彦 (東大, NICT)
入江 英嗣 (東大)
岩本 拓也 (サイバーエージェント)
梅村 恭司 (豊橋技科大)
大槻 麻衣 (筑波大)
大坪 五郎 (LIFULL)
沖 真帆 (はこだて未来大)
小倉 加奈代 (岩手県立大)
梶本 裕之 (電通大)
加藤 淳 (産総研)
川口 一画 (筑波大)
小山 裕己 (産総研)
櫻井 翔 (電通大)
阪口 紗季 (関西大)
杉浦 裕太 (慶応大)
竹川 佳成 (はこだて未来大)
佃 洗撰 (産総研)
辻田 眸 (シンクフェーズ)
寺田 努 (神戸大)
中野 倫靖 (産総研)
中村 裕美 (産総研)
西田 健志 (神戸大)
原 貴洋 (YAMAHA)
樋口 啓太 (東大)
福地 健太郎 (明治大)
細部 博史 (法政大)
益子 宗 (楽天技術研究所)
真鍋 宏幸 (NTT ドコモ)
丸山 一貴 (明星大)
宮下 芳明 (明治大)
村尾 和哉 (立命館大)
築瀬 洋平 (Unity)

表紙デザイン

加藤 邦拓

ISS 研究会連絡先

日本ソフトウェア科学会
「インタラクティブシステムとソフトウェア研究会」
主査: 伊藤 貴之
お茶の水女子大学 理学部情報科学科
東京都文京区大塚 2-1-1
E-mail: itot (at) is.ocha.ac.jp

本研究会に関する情報は <http://www.wiss.org/> からアクセス可能です。